

③ 公園・緑地・街路樹

- ▶ 仙台市の公園整備面積は他の政令指定都市に比べ大きい。一方で開園後 30 年以上経過した公園が 4 割となっている。
- ▶ 仙台市中心部には西公園、錦町公園、勾当台公園が定禅寺通と連続して位置しており、都心の貴重な緑の拠点となっている。

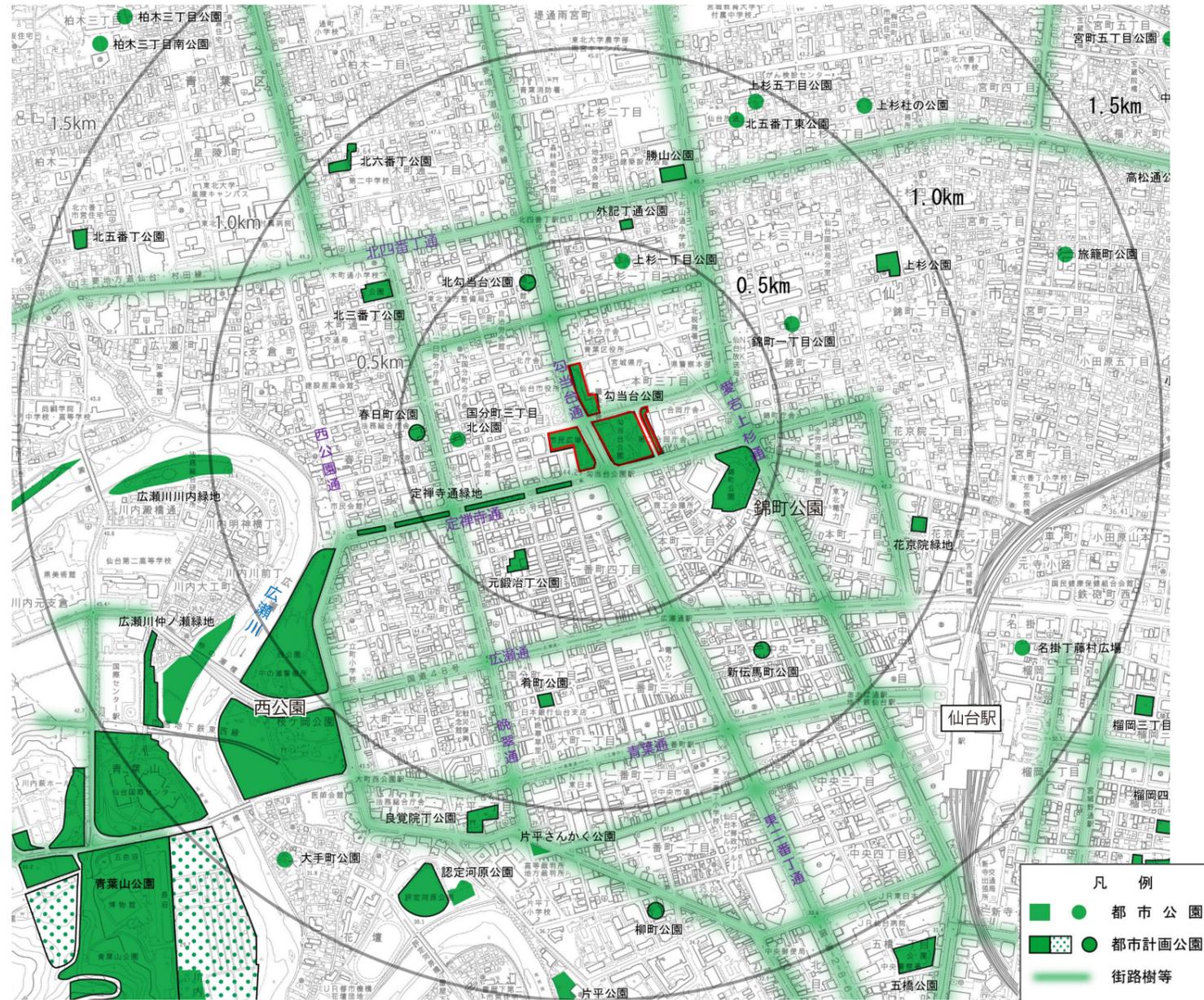
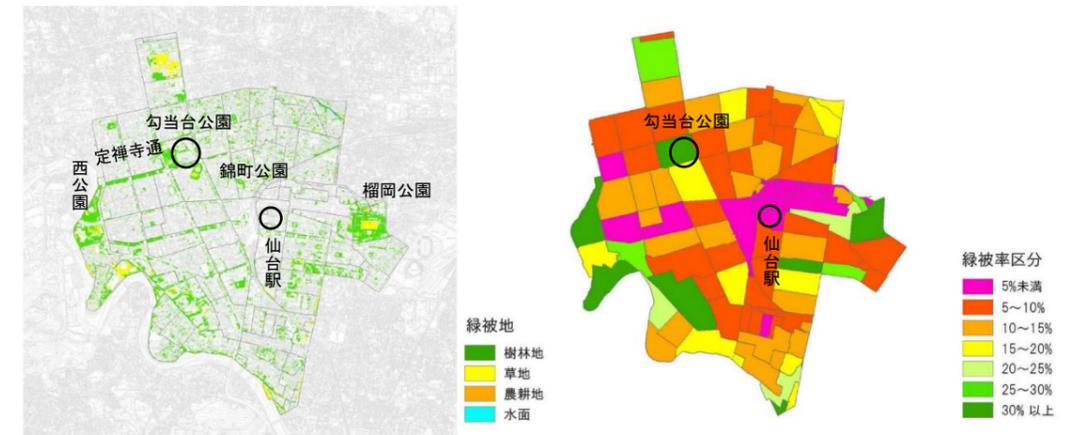


図 勾当台公園周辺の都市公園の分布

表 勾当台公園周辺 (1km 圏内) の都市公園の分布

公園名称	面積 (ha)	種別	公園名称	面積 (ha)	種別	公園名称	面積 (ha)	種別
西公園	10.8003	総合公園	北六番丁公園	0.3343	風致公園	新伝馬町公園	0.0306	特殊公園
錦町公園	1.7381	近隣公園	花京院緑地	0.2354	都市緑地	国分町三丁目北公園	0.0254	街区公園
定禅寺通緑地	0.5694	都市緑地	肴町公園	0.1987	街区公園	北五番丁東公園	0.0240	街区公園
勝山公園	0.4418	街区公園	元鍛冶町公園	0.1872	特殊公園	錦町一丁目公園	0.0167	街区公園
上杉公園	0.4377	街区公園	外記丁通公園	0.0985	街区公園	上杉五丁目公園	0.0160	街区公園
北三番町公園	0.4357	街区公園	北勾当台公園	0.0330	街区公園	上杉一丁目公園	0.0128	街区公園

- ・仙台市の開園した公園数は 1,800 余りに及び、1,600ha を超える。市民 1 人あたりに換算すると 15.39ha (令和 2 年 4 月時点) であり、政令指定都市平均 6.8m²/人を大きく上回っている。
- ・仙台都心部は緑化重点地区 (緑化の必要性が特に高い地区) に指定されている。下図の緑地比率では仙台駅周辺から中央、本町、一番町、上杉等が低い、勾当台公園周辺は 30% 以上となっている。(出典: 仙台市緑の分布調査 (R2.6))



仙台都心部緑化重点地区の緑被地分布

仙台都心部緑化重点地区の緑被率分布



西公園

錦町公園

- ・勾当台公園を中心に都市公園の配置をみると、西公園 (総合公園) や錦町公園 (近隣公園) をはじめ 18 か所の都市公園及び都市緑地が約 1.0km 圏内にある。
- ・西公園及び錦町公園はそれぞれ歴史のある仙台市を代表する公園であり、その立地特性、施設機能から利用者層や利用シーンに特徴を有しており、仙台市民の多様な憩いの場となっている。
 - ・西公園 : 花見の名所として古くから市民に親しまれ、多様な市民活動が行われている
 - ・錦町公園: 都心部の貴重なオープンスペースとして、各種人気イベントの会場となっている
- ・青葉通、広瀬通、定禅寺通、愛宕上杉通、東二番丁通等はケヤキ、イチョウ並木が植栽され、市街地内の緑の骨格を形成し、各公園をつないでいる。

④ 自然環境

1) 地形

- 勾当台公園は全体的に宮城県庁側から三越側に緩やかに傾斜（約0.8%）しているが、公園内はほぼフラットである。このうち、公園内はかつて広瀬川による河岸段丘の地形がみられ、【いこいの広場】では最大3m程度の高低差がある。
- 【いこいの広場】、【歴史の広場】では、出入口や高低差がある箇所に階段やスロープを設置している。

●階段・スロープ【歴史の広場】

①②周辺道路と高低差がある出入口は階段・スロープが設置されている。



③④広場内の高低差を緩和するため、階段・スロープが設置されている。



⑤河岸段丘の地形（いこいの広場）



⑥東側園路の階段



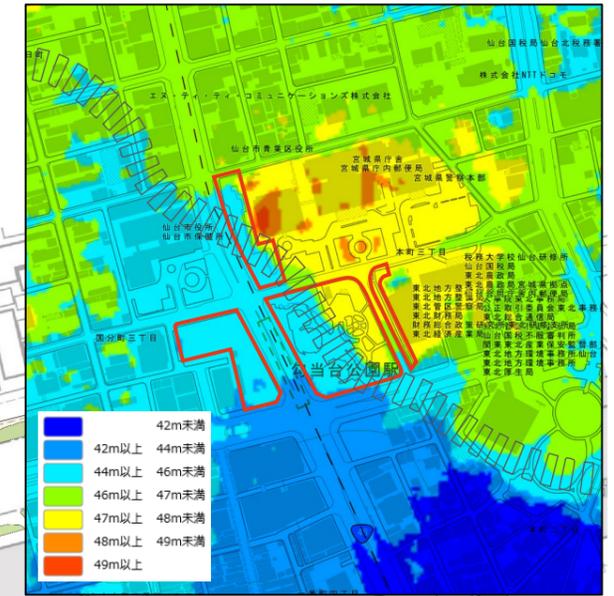
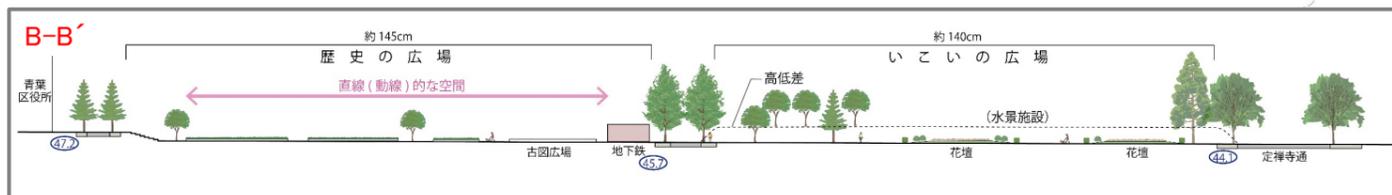
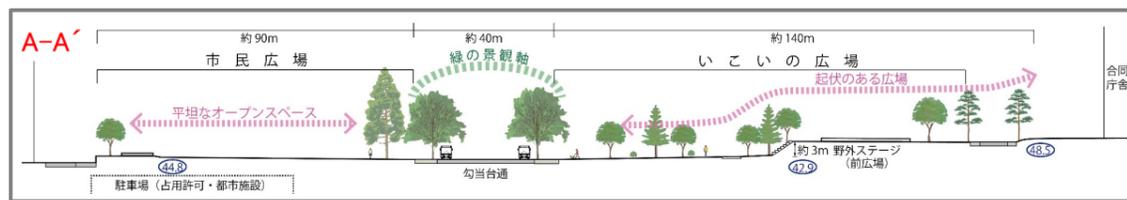
【いこいの広場】

⑦～⑨河岸段丘の地形（高低差 約3m）を利用した公園整備

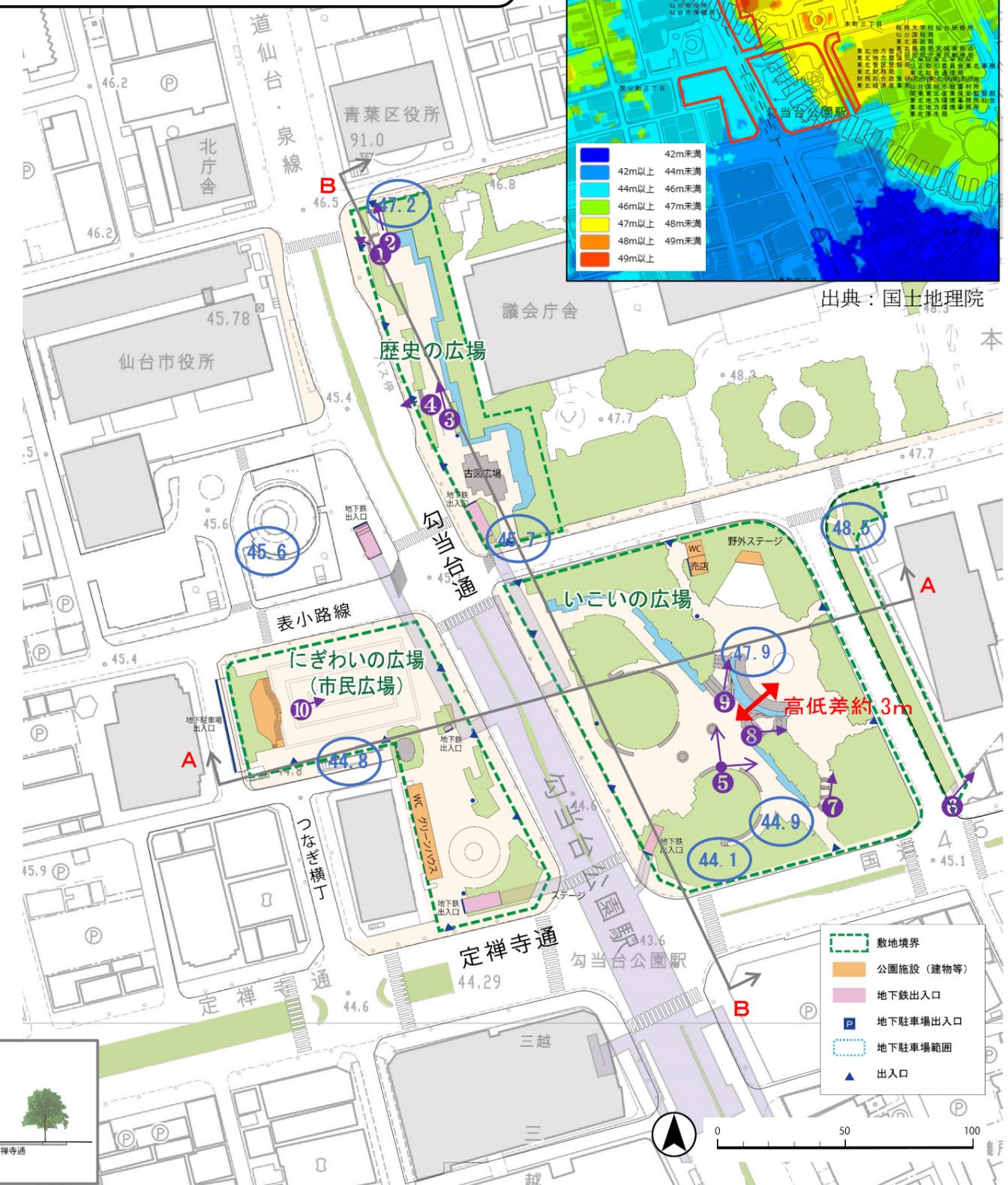


【市民広場】

⑩段差なし（平坦）



出典：国土地理院



- 敷地境界
- 公園施設（建物等）
- 地下鉄出入口
- 地下駐車場出入口
- 地下駐車場範囲
- ▲ 出入口